

H001 医療統計学

前期 MPHコア、MCR 必修

授業日時: 火曜日 2 限
担当分野: 医療統計学分野
担当教員: 佐藤俊哉(科目責任者)

教室: G 棟 2F セミナー室 A
主担当教員連絡先: 佐藤俊哉
G 棟 3F 医療統計学 内線 4475
e-mail: sato.tosiya.4e(at)Kyoto-u.ac.jp

基礎・応用等レベル: 基礎
先修・推奨科目等: なし

I. コースの概要

医療統計学は社会健康医学の実務・研究に必須であることは広く認識されています。が、医療統計の教科書には怪しげな数式ばかりでてきてとっつきにくく、一部の愛好家以外には敬遠されています。

しかし、しかしです、本当は医療統計学っておもしろいのです。

「医療統計学はおもしろい」ということをみなさんに伝えたいと、医療統計学では、数学的、技術的な問題に立ち入ることなく、平易なことばで医療統計学の考え方を解説しています。

予習は必要ありません。ともかく授業にきて、話しを聞き、スライドをみて、一緒に考えてください。講義終了時にスライド資料を配りますので、ノートなんかとらなくても結構です。

その代わり、必ず復習をしてください。講義中にはわかった気分になりますが、それが自分のものとなるためには、自分の中で何度も何度も確認する必要があります。

毎回、講義の始めに前回のおさらいをしますので、復習してわからなかったことはそこでどんどん質問してください。技術的な内容については、午後の医療統計学実習で補います。

II. 学習到達目標(このコース終了時までには習得が期待できること)

- ・ 医療統計アレルギーの改善
- ・ 因果関係とコントロール(対照)について理解を深める
- ・ 疫学研究、臨床試験の代表的なデザインを学ぶ
- ・ 医療統計の基礎的な考え方を自分なりに説明できる

III. 教育・学習方法

- ・ パワーポイントスライドによる講義形式

IV. 学習資源

必須テキスト：配布する講義資料

推奨テキスト：

佐藤俊哉. 宇宙怪人しまりす 医療統計を学ぶ. 岩波科学ライブラリー114, 2005.

佐藤俊哉. 宇宙怪人しまりす 医療統計を学ぶ 検定の巻. 岩波科学ライブラリー194, 2012.

椿 広計, 藤田利治, 佐藤俊哉編. これからの臨床試験: 医薬品の科学的評価—原理と方法. 朝倉書店, 1999.

Rothman KJ. ロスマンの疫学. 矢野・橋本監訳, 篠原出版新社, 2004.

V. 学生に対する評価方法

ミニテスト(30%)とレポート(70%)

- ・ 6月に一度ミニテストを実施
- ・ 複数のテーマ(7月はじめに提示します)から一つを選び、指定された関連文献をレビューして自分の意見をレポートにまとめる

VI. その他メッセージ

- ・ 前期火曜 3, 4 限「医療統計学実習」を合わせて選択すると、とってもおとく
- ・ 医療統計学を履修していないと後期「交絡調整の方法」は履修できません
- ・ 受講者は必ずミニテストを受け、レポートを提出してください

人間健康科学系専攻学生の受講可否：10名まで(人間健康科学教務掛と調整してください)

医科学修士、医学博士課程の受講希望者は事前に必ずメールで連絡してください

(スペースの関係で受講できない可能性もあります)

予定・内容

第1回	4月8日	コントロールの重要性
第2回	4月15日	ピロリ菌と胃がん
第3回	4月22日	疫学研究デザイン概論
	4月29日	昭和の日
	5月6日	振替休日
第4回	5月13日	骨粗鬆症治療薬市販後臨床試験
第5回	5月20日	臨床試験デザイン概論
第6回	5月27日	曝露効果、治療効果の指標
第7回	6月3日	統計的仮説検定の考え方
第8回	6月10日	検定と信頼区間の関係
第9回	6月17日	研究に必要なサンプルサイズ
第10回	6月24日	続 検定の考え方
第11回	7月1日	コホート研究の妥当性
	7月8日	休講
第12回	7月15日	ケース・コントロール研究の妥当性
第13回	7月22日	交絡とはなにか
第14回	9月16日	レポートテーマディスカッション 1
第15回	9月17日	レポートテーマディスカッション 2
